

## 近畿・北陸地方会 2014年度事業予定 次の内容が決まりました

★看護研究継続セミナー  
第19回:10月18日(土)  
【場所】:富山大学  
第20回:12月20日(土)  
【場所】:園田女子大学(予定)

★近畿・北陸地方会  
第28回学術集会開催  
2015年3月7日(土)  
「患者の看護に立ち戻る研究  
への挑戦」(金沢大学)  
学術集会長:加藤真由美氏

★ニュースレター発行  
第16号(6月), 17号(11月)

### 第16号の内容

近畿・北陸地方会第27回学術  
集会が行われました。

中木高夫(天理医療大学)

第18回近畿・北陸地方会看護  
研究継続セミナーを終えて  
演習担当講師 長島俊輔

第19,20回近畿・北陸地方会  
看護研究継続セミナーの案内

選挙の予定  
同封資料を参照下さい。

## 近畿・北陸地方会第27回学術集会を終えて

第27回学術集会長 中木高夫(天理医療大学) 於;2014年3月1日(日), 天理医療大学

今回の学術集会のテーマは『看護研究のグランドデザイン』天理と  
いうと天理教。その程度の知識しか持っておられないと思いますので、  
近畿・北陸と、比較的近場の人たちを対象としているとはいえ、どのく  
らいの参加者があるかと心配していましたが杞憂に終わり、80名を越  
す大勢の方が参加してくださいました。

午前中は、最近、質的看護研究の方法論で話題の谷津裕子先生に  
よる教育講演『研究課題から研究計画書作成までのプロセス』研究  
問題の気づきや研究目標の設定, 研究テーマの絞り込み, 研究方法  
の選択, そして研究計画書の作成のプロセスの重要性を熱く語ってま  
らいました。

午後からは会長講演。『地方会を作ろうと思ってから30年』と題して、  
親学会の第10回学術集会(熊本)の帰路の夕食会での「地方会をつ  
くったら」という話題に端を発したということを出しながら、地方会  
の学術集会で発表してもあまり業績にならないけれど、そこで発表す  
ることで自分の研究が進化するということを強調しました。つまり、学  
問の語らいの場としての地方会という役割です。

その後は3会場に分かれて一般演題27題の発表。語らいの場を確  
保するために、時間を長めにとったためか、各発表演題に対して活発  
な議論がされていました。

8月23日24日に日本看護研究学会第40回学術集会在奈良県文化  
会館・奈良県新公会堂であります。そちらにも奮ってご参加ください。

第27回学術集会長  
中木 高夫 先生



## 地方学術集会から日本看護研究学会学術集会に継ぐ、展げる!

日本看護研究学会第40回学術集会にも多数のご参加を!

事前参加登録募集中(事前登録入金7月10日(木)まで) 詳しくはホームページで。

### 2014年度研究継続セミナーの案内

#### 第19回近畿・北陸地方会継続セミナー

【日時】2014年10月18日(土)13時~17時

【場所】富山大学医学部看護学科

【内容】

【第1部】講演『量的看護研究に必要な  
統計学の基礎知識と技術』

福井大学医学部看護学科 出口洋二 先生

【第2部】

厚生連滑川病院 がん看護専門看護師

長 光代 先生

【第3部】グループワーク(研究相談・情報交換)

#### 第20回近畿・北陸地方会継続セミナー

【日時】2014年12月20日(土)13時~17時

【場所】園田女子大学看護学科

【内容】講演『院内研究で、うまく成果を  
だす方策』(予定)

院内研究で研究の原石を輝かせるために...

梅花女子大学看護学科 山口曜子 先生

今年度の予定がいち早く届けられるよう、更に、  
よりリアルタイムで情報が共有出来るように、今年  
度は発行回数を2回(6月, 11月)と致しました。  
会員の皆様方と地方会の活動情報を共有でき  
る紙面づくりを目指していきたく思います。  
皆様のご意見ならびにご投稿をお待ちしてお  
ります。  
ニュースレター担当; 西岡貞子、坪田恵子

## 第18回近畿・北陸地方会看護研究継続セミナーを終えて

於;2013年12月14日(土), 京都大学(参加者:37名)

講師 竹之内沙弥香 氏の講演「研修会や教育プログラムの企画・運営ノウハウ」の後、  
講師 東條千草氏、山下舞琴氏、長島俊輔氏(京都大学大学院修士課程学生)による演  
習「サンプルサイズ、効果量の考え方」が行われました。

今回は、演習講師に執筆をお願いしました。

今年も多数の参加を

### 講師と受講者ともに学びあう講習会 長島俊輔(京都大学大学院生)

看護研究継続セミナーの講師に選んでいただきありがとうございます。講師が大学院生  
にも関わらず、多くの皆様に参加していただいたことを大変うれしく思っております。

今回のセミナーでは、私たちが大学院の授業で習ったことや、自分達の研究での経験をも  
とにお話させていただきました。私たちは統計の専門家ではありませんので、私たち自  
身、完全に統計を理解できているわけではありません。そのため今回のセミナーでは、参  
加していただいた皆様と同じ立場に立って、どうしたらわかりやすく統計を理解できるかを  
考えて発表しました。参加していただいた皆様のご期待に添えた内容だったかはわかりま  
せんが、感想カードのアドバイスや激励を拝見し、感謝しております。

今回の経験は、私たちの中で曖昧だった学門に対する理解を振り返るきっかけとなりま  
した。また大学院生という立場で、このような機会をいただけたことは、今後、研究者や教  
育者を目指す私たちにとって大変貴重な機会となりました。今回の経験を活かして、残り  
の学生生活や今後の研究者人生に励んでいきたいと思っております。ありがとうございます。

### 一般社団法人日本看護研究学会 近畿・北陸地方会事務局

〒910-1193  
福井県吉田郡永平寺町松岡下合月 23-3  
福井大学  
TEL:0776-61-3111(内線2651)  
FAX:0776-61-8564  
e-mail: shigeta@u-fukui.ac.jp  
繁田里美【庶務担当】

〒910-3190  
福井市江上町55字鳥町13-1  
福井医療短期大学  
TEL:0776-59-2204  
FAX:0776-59-2205  
e-mail: hitomi.fcm-ns@kkh.biglobe.ne.jp  
藤本ひとみ【会計担当】